

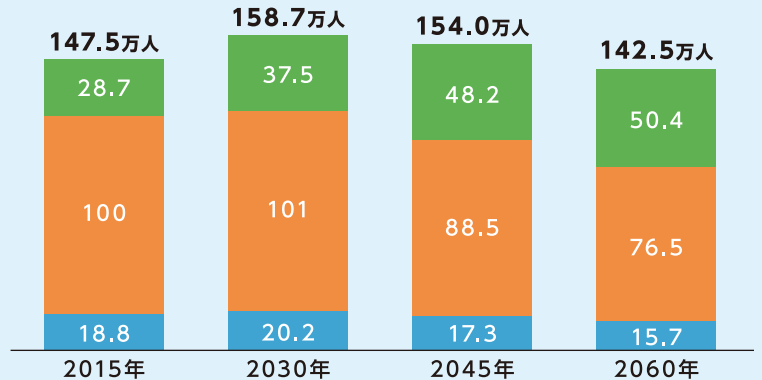
川崎における現状・・・

人口減少を伴う超高齢社会

少子高齢社会の進展により、日本の総人口は2060年には9,284万人まで減少と予測されています。(日本の将来推計人口(平成29年推計)国立社会保障・人口問題研究所)

川崎市の人口の変化

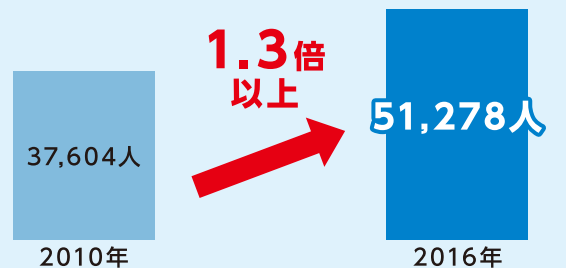
本市では2030年までは人口が増え158.7万人とピークを迎えますが、以降は人口減少に転じ、2060年には、人口142.5万人、全体の約35%が65歳以上になると見込まれます。



〔川崎市総合計画 第2期実施計画の策定に向けた将来人口推計について〕

要介護等認定者数の増加

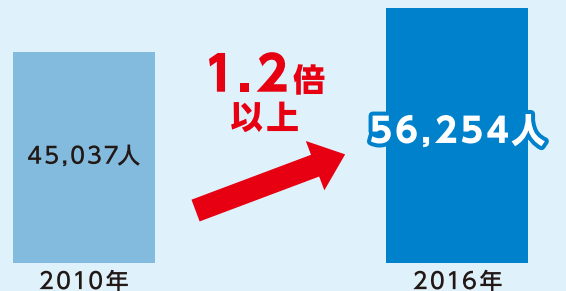
要介護・要支援認定者数が増加します。2025年には高齢者の約4人に1人が要介護等認定者に！



〔川崎市健康福祉局調べ〕

障害児・者数の増加

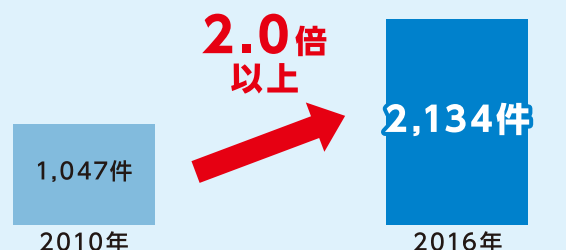
市の人口の増加率1.04倍に対し、障害児・者数は1.2倍以上の増加(障害者手帳所持者数)



〔川崎市健康福祉局調べ〕

児童虐待相談・通告件数の増加

児童虐待相談・通告件数が増加し、複雑で対応が難しいケースも増加しています。



〔厚生労働省「福祉行政報告例」、川崎市こども未来局調べ〕

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続ける